

Tsuyama College		Year	2024		Course Title	Practice in Information Processing II	
Course Information							
Course Code		0015		Course Category		Specialized / Elective	
Class Format		Lecture		Credits		School Credit: 1	
Department		Advanced Electronics and Information System Engineering Course		Student Grade		Adv. 1st	
Term		Second Semester		Classes per Week		2	
Textbook and/or Teaching Materials							
Instructor		TERAMOTO Takayuki					
Course Objectives							
学習目的：実習を通して情報処理技術を身につけるとともに、情報を判断したり評価するために必要な知識や技術をさらに深化させる。							
到達目標							
1. 組み版システムを理解し、必要なドキュメントを作成することができる。 2. 組み版システムを利用するためのマニュアルを作成し、他人に使い方を説明することができる。 3. 論文等で作成する回路図やフローチャート・ガントチャート等を適切に作成することができる。							
Rubric							
	優		良		可		不可
評価項目1	組み版システムを理解し、学会に投稿できるレベルでドキュメントを作成することができる。		組み版システムを理解し、一般的なドキュメントを作成することができる。		組み版システムを理解し、必要なドキュメントをある程度作成することができる。		目的に合わせたドキュメントを作成する事ができない。
評価項目2	組み版システムを利用するためのマニュアルを作成し、他人に使い方を十分説明することができる。		組み版システムを利用するためのマニュアルを作成し、他人に使い方がある程度説明することができる。		組み版システムを利用するためのマニュアルを作成することができる。		組み版システムを利用するためのマニュアルを作成することができない。
評価項目3	与えられた課題に対して、回路図やフローチャート・ガントチャート等を適切に作成することができる。		与えられた課題に対して、回路図やフローチャート・ガントチャート等をある程度作成することができる。		与えられた課題に対して、回路図やフローチャート・ガントチャート等のいずれかを作成することができる。		与えられた課題に対して、回路図やフローチャート・ガントチャート等を作成することができない。
Assigned Department Objectives							
Teaching Method							
Outline	一般・専門の別：専門 学習の分野：情報・制御						
	基礎となる学問分野：情報科学、情報工学およびその関連分野／統計科学関連，計算機システム関連，ソフトウェア関連						
	専攻科学学習目標との関連：本科目は専攻科学学習目標「(1) 数学，物理を中心とした自然科学系の科目に関する知識を深め，人文・社会科学に関する知見を広めて，機械・制御システム工学および電子・情報システム工学に関する基礎学力として応用できる。」に相当する科目である。						
	技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育到達目標は「（A）技術に関する基礎知識の深化および情報技術の習得とそれらを応用することができる」であり、付随的に（C）に関連する。						
Style	授業の概要：本演習では，すでに基本的なコンピュータリテラシー能力を習得した学生を対象に，さらに高度なシステム管理能力や初学者への指導力，そして表現力を身につけるための演習を行う。						
	授業の方法：演習を中心に授業を進める。情報処理に必要とされる知識全般が習得できるよう演習を進める。また，理解が深まるようレポートを課す。						
Notice	成績評価方法：演習の計画性と実施状況 50%， プレゼンテーションと議論への参加態度 40%， 発表・提出された課題を学生が相互に評価した結果 10%						
	履修上の注意：本科目は「授業時間外の学修を必要とする科目」である。当該授業時間と授業時間外の学修を合わせて，1単位あたり45時間の学修が必要である。授業時間外の学修については，担当教員の指示に従うこと。						
	履修のアドバイス：情報処理基礎演習Ⅰと同時に履修する事はできないが，情報処理基礎演習Ⅱもしくは情報処理応用演習Ⅱを履修することは可能。 また「情報処理基礎演習Ⅰまたは情報処理応用演習Ⅰ」（各1単位），「情報処理基礎演習Ⅱまたは情報処理応用演習Ⅱ」（各1単位）から1単位以上修得すること。 本科目は，本科5年次で学修した「情報システム」を基礎（基盤）とし，より研究を発表するために必要な情報技術を習得する科目である。（ただし、「情報システム系」は除く） 基礎科目：各学科の情報処理に関連する科目および演習						
	関連科目：工学倫理（専1年），情報処理応用演習Ⅰ（専1年），情報処理基礎演習Ⅰ（専1年）						
受講上のアドバイス：コンピュータ・ネットワーク等に関する指導的・管理的役割を担える技術者を目指すこと。自主的に課題を見つけてテーマが多いので日頃から広く技術動向に注意を払っておくこと。科目の性格上，必ずしもすべての項目にわたって精通する必要はないが，技術者が情報収集や学会発表を行う際に必要な情報処理技術を中心に演習を行う。 遅刻の扱い：授業開始時の出席確認以降の入室は遅刻として扱う。なお，1時限の半分の時間経過後は欠課として扱う。							
Characteristics of Class / Division in Learning							
☒ Active Learning		☒ Aided by ICT		☒ Applicable to Remote Class		☐ Instructor Professionally Experienced	
選択							

Course Plan							
			Theme	Goals			
2nd Semester	3rd Quarter	1st	概要説明〔ガイダンス〕	概要を理解する			
		2nd	TeXシステムの概要説明と学習環境の構築と演習①	TeXシステムを理解し演習環境を構築することができる			
		3rd	TeXシステムの概要説明と学習環境の構築と演習②	TeXシステムを理解し演習環境を構築することができる			
		4th	組み版システムの歴史と技術に関する学習	組み版システムの歴史と技術を理解し演習で内容を確認することができる			
		5th	メタフォント並びにポストスクリプトフォントや画像ファイル（EPS他）の取り扱いに関する演習	メタフォント並びにポストスクリプトフォントや画像ファイル（EPS他）の取り扱いを理解し演習で内容を確認することができる			
		6th	jLaTeXマニュアル作成演習①	jLaTeXマニュアルを理解し演習で内容を確認することができる			
		7th	jLaTeXマニュアル作成演習②	jLaTeXマニュアルを理解し演習で内容を確認することができる			
		8th	jLaTeXマニュアル作成演習③	jLaTeXマニュアルを理解し演習で内容を確認することができる			
	4th Quarter	9th	jLaTeXマニュアル作成演習④	jLaTeXマニュアルを理解し演習で内容を確認することができる			
		10th	Visioによるフローチャートや各種設計図の作成①	Visioによるフローチャートや各種設計図の作成を理解し演習で内容を確認することができる			
		11th	Visioによるフローチャートや各種設計図の作成②	Visioによるフローチャートや各種設計図の作成を理解し演習で内容を確認することができる			
		12th	Visioによる各種設計図の講義準備	Visioによる各種設計図を理解し演習で内容を確認することができる			
		13th	Visioによる各種設計図の講義	Visioによる各種設計図を理解し他人に説明できる			
		14th	Visioによる各種設計図の講義	Visioによる各種設計図を理解し他人に説明できる			
		15th					
		16th	演習のまとめと相互評価を行う				
Evaluation Method and Weight (%)							
	試験	プレゼンテーション	相互評価	自己評価	課題	小テスト	Total
Subtotal	0	40	10	0	50	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	40	10	0	50	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0